

記入日	2018年8月4日
所属学部・学科 ／ 研究科・専攻	<input type="checkbox"/> 理工学部 学科 専攻 <input checked="" type="checkbox"/> 理工学研究科 建築・都市学 専攻 国際建築都市デザイン系
留学先国	フランス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文:国立建築高等学校パリ・ラヴィレット校 現地言語:ECOLE NATIONALE SUPERIEURE D' ARCHITECTURE DE PARIS-LA-VILLETTE
留学期間	2017年9月～2018年7月
留学した時の学年	修士1年生(渡航した時の本学での学年)
留学先での学年	修士1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
出発年月日	2018年8月28日
帰国年月日	2018年7月30日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬-2月上旬 2学期:3月上旬-7月上旬 3学期:- (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約3000名
創立年	1969年

留学にかかった費用(概算)

留学費用項目	現地通貨(€)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	4,444	577,720円	404€/月 (住宅補助金申請可能 : 167€)
食費	2,500	325,000円	
図書費	200	26,000円	
学用品費	100	13,000円	
教養娯楽費	1,000	130,000円	
被服費	600	78,000円	
医療費	0	0円	
保険費	1614	209,900円	形態:学生社会保険(仏)+留学生保険
渡航旅費	3,500	455,000円	
雑費	100	13,000円	生活雑貨
その他	380	49,530円	Navigo ImagineR 学生定期券
その他	200	26,000円	Sim card 「Free」
その他	60	7,800円	滞在許可証発行
合計	約 14,700	1,910,820円	

出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

明治に留学で来ているラヴィレット校からの学生、ワークショップなどで知り合ったフランス在住の学生、留学経験のある先輩から情報を集めた。フランス語、英語は事前に重点的に訓練しておく必要があります。

留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類:長期学生ビザ	申請先:在日本フランス大使館
ビザ取得所要日数:一週間ほど (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:60€

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか?また、どのように手配しましたか?

Campus France 手続き完了の証明書、学生ビザ申請用紙、現地での引き出し可能な銀行口座の残高証明書、奨学金受領の確認証明書、日本の大学の在学証明書、留学先大学の受け入れ許可書(書類は全て英語、またはフランス語にて作成、自身での翻訳不可/留学先から送付されたもの)顔写真、パスポート原本

具体的な申し込み手順を教えてください。

Campus France に登録 — 必要書類のデータをメールで送信 — その他全ての必要情報をウェブで記入、情報登録の完了 — 申請料の支払い(協定留学のため免除された) — ウェブ上で申請が通ったことを確認 — フランス大使館訪問日を予約 — 申請および申請料の支払い

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?

面接なし

ビザ取得に関して困った点・注意点

書類等が揃う7月頃は学業も忙しい時期で、フランス大使館訪問の予約を先延ばししていると、あっという間に予約が埋まっていってしまうので、こまめにウェブサイトをチェックし可能な限り早く予約を取った方が良い。

私の場合、現地で預金が引き出せるように銀行口座の新規開設が必要であり、それに伴いキャッシュカード、デビットカード等の作成や残高証明の用意も必要でした。その時期が海外ワークショップとも重なり、直接窓口に行けないことでカード、書類の受け取りがスムーズに行かず、とても焦ったため、もし新規口座開設が必要な場合は留学が決まりかけている段階で行動する必要がある。

銀行口座の残高証明はウェブサイトによっては、数十万円の残高が証明できないと許可されない、と書いてある場合もあるが、奨学金がもらえる際は奨学金込みの計算になるため残高は厳しく見られないようである。

留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)

フランスでは、現在「Free」という、20€/月で100GBの通信ができる格安新キャリアのsimカードが登場し、EU圏内、アメリカ、その他の国でも利用条件は変わるものの利用することができるため、とても便利である。

利用するには、simカードを挿入するだけだが、simフリーの端末もしくはsimロック解除された端末を用意する必要がある。

パリでは、安いsimフリーの端末が比較的簡単に見つかるので、現地で新しく端末を購入してテザリングすることでsimロックされたままの端末を使う友達も実際にいた。

現地到着後のながれ					
1.到着時の様子					
利用航空会社	カタール航空				
渡航経路	成田-シャルルドゴール空港				
渡航費用	チケットの種類:片道航空券 航空券代: 円(<input type="checkbox"/> 往復, <input checked="" type="checkbox"/> 往路のみ, <input type="checkbox"/> 復路のみ)				
航空券手配方法	旅行サイト トラベルコちゃん Ctrip ※利用した旅行社・旅行サイト, ガイドブック, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	シャルルドゴール空港	現地到着時刻	14 時頃		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input checked="" type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	1 時間 30 分程				
空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等					
<p>パリに到着した日は、空港からキャンパスへ直接向わずにシャトルバス(20€弱)でパリの中心部に向かい現地在住の友人に迎えに来てもらった。</p> <p>パリのメトロは階段の上り下りが非常に多く混み合う時間はスリも多いため、パリでのメトロに慣れていない場合は、空港から中心部までシャトルバスで向かい、そこから地上で移動できるタクシー、トラムを利用する、もしくは現地在住の友人がいれば迎えに来てもらうことをお勧めする。</p>					
大学到着日	8 月 30 日 10 時頃				
2.住居について					
到着後すぐに住居入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方:9 月 1 日から入居可能だった。			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他()		
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他()		
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他()		
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他()		
住居の申込み手順	留学許可がラヴィレット校側から出された後、続けて住居申込みの手続きを行った。				
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか?トラブルはありましたか?滞在先の感想も書いてください。					
<p>渡航前に住居の申請が通ったため、住居探しでのトラブルはなかった。</p> <p>滞在した学生寮は、2018 年の 9 月から利用開始だったため設備が真新しく、清潔で利用しやすかったが、2 ヶ月に1度以上のペースでお湯が出ない時間帯があったり、暖房がうまく機能しないなど、メンテナンスが行き届いていないことが幾つかあったが、学校、駅、ラヴィレット公園、スーパーマーケット等徒歩圏内にあり居心地は良かった。</p>					
3.留学先でのオリエンテーションについて					
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった				
日程	9月中旬-下旬				
参加必須ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加				
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)				
内容と様子は?	年間スケジュールと各授業の内容の説明				
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった				
授業開始日	10 月 2 日から				

その他、渡航してから必要な手続きについて・現地情報

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

必要、留学生担当の職員の方が事前の手続きを済ませてくれるので、OFII からの手紙を待つ。手紙には、いつ、どこで、必要書類が記入されているので、それらを用意して時間通りに行く。料金は 60€。OFII の職員は基本的にフランス語しか話さないで、注意が必要。私の場合は 10 月下旬に時間が設けられた。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

学生社会保険は、フランスの決まりで日本で留学生用の保険等に加入していても必ずフランスで社会保険に加入しなければならない。留学担当の方から説明があるので、それに従って行く。窓口で即日で済ませることができたが、友人と複数で行くことをお勧めする。学校でも別の保険に入る必要があるので、総額で 230€ほどかかった。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

ERASMUS の奨学金を受け取るために開設した。基本的に銀行の訪問に予約が必要。即日で発行することができる。留学担当の方には、LCL という銀行のラヴィレットの最寄りの支店を勧められるが、LCL の pyramid 支店は日本語が話せる職員と日本人が働いていて、説明を細かく聞いたり、トラブルの際にも丁寧に受け答えしてもらえるので強くお勧めする。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

Free というキャリアの sim カードを利用した。

パリに 1 店舗あり、その自動販売機で購入することができる。滞在先の住所が必要。

最初の月は sim カード自体の料金も込みで 30€、その後は 20€で月に 100GB までの通信ができる。

5. 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？

ない。友人が医者にかかったが、学校の保険に入っていたおかげで医療費を払わずに済んだと聞いた。

6. 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学担当の方は、特に日本人の留学生に対してとても優しく迅速に対応してくれたと感じている。フランス人の友人に相談することもよくあった。

7. 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

フランス国内で大きい事件があると在フランス日本国大使館から注意喚起のメールが届いた。

盗難等のトラブルには巻き込まれなかった。

8. パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学生寮の WIFI は数日毎にログインし直さなければならないが、接続している際は快適に利用することができた。

学校の WIFI はとても弱いため、よく自分の iphone からテザリングしてパソコンは使っていた。Free の通信回線は地下に弱く、メトロ内ではほとんど使うことはできない。

9. 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

常備薬、洗顔料、化粧水等の肌に触れるものは慣れたものを持って行った方がいいと感じた。

チューブ型の調味料、出汁等もあると自炊の際に便利だった。

履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(月 日頃)

オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(9 月 25 日頃)

オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？
抽選になった場合、基本的には留学生の志望が優先された。
優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？
出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？
出発前に留学計画を立てるため仮履修登録し、現地でそれを元に変更、追加を行った。 基本的には、希望通りの授業を取ることができた。
卒業後の進路について
1. 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：
2. 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3. 上記の項目で就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）
4. 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。（例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。）
5. 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6. 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）がありましたらお書き下さい。
7. その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00						美術館・展示鑑賞 小旅行	近所のマルシェで 食料調達
9:00			冬:ー 春:施工演習			美術館・展示鑑賞 小旅行	近所のマルシェで 食料調達
10:00			冬:ー 春:施工演習	冬:ー 春:設計スタジオ	冬:設計スタジオ 春:ー	美術館・展示鑑賞 小旅行	
11:00			冬:ー 春:施工演習	冬:ー 春:設計スタジオ	冬:設計スタジオ 春:ー	美術館・展示鑑賞 小旅行	
12:00	冬:ー 春:フランス語講座		冬:ー 春:施工演習	冬:ー 春:設計スタジオ	冬:設計スタジオ 春:ー	美術館・展示鑑賞 小旅行	
13:00	冬:ー 春:フランス語講座	冬:家具造形演習 春:ー		冬:ー 春:設計スタジオ	冬:設計スタジオ 春:ー	美術館・展示鑑賞 小旅行	
14:00	冬:ソフトウェア講習 春:ー	冬:家具造形演習 春:ー		冬:ー 春:設計スタジオ	冬:設計スタジオ 春:ー	美術館・展示鑑賞 小旅行	
15:00	冬:ソフトウェア講習 春:ー	冬:家具造形演習 春:ー		冬:ー 春:設計スタジオ	冬:設計スタジオ 春:ー	美術館・展示鑑賞 小旅行	
16:00	冬:ソフトウェア講習 春:ー	冬:家具造形演習 春:ー		冬:ー 春:設計スタジオ	冬:設計スタジオ 春:ー	美術館・展示鑑賞 小旅行	
17:00	冬:ソフトウェア講習 春:ー	冬:家具造形演習 春:ー		冬:ー 春:設計スタジオ	冬:設計スタジオ 春:ー	美術館・展示鑑賞 小旅行	
18:00			冬:フランス語講座 春:ー	冬:ー 春:設計スタジオ	冬:設計スタジオ 春:ー	美術館・展示鑑賞 小旅行	
19:00			冬:フランス語講座 春:ー	冬:ー 春:設計スタジオ	冬:設計スタジオ 春:ー	美術館・展示鑑賞 小旅行	
20:00						美術館・展示鑑賞 小旅行	
21:00						美術館・展示鑑賞 小旅行	
22:00						美術館・展示鑑賞 小旅行	
23:00						美術館・展示鑑賞 小旅行	
24:00							

※単位認定結果に関する項目は理工学部事務室にて記入します。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
38 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Initiation à la modélisation paramétrique	パラメトリックモデリング入門
科目設置学部・研究科	Semester 7
履修期間	2017.10-2018.1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	演習形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 210 分が 14 回
担当教授	F. GUENA
授業内容	ライノセラスのプラグイン、グラスホッパーの演習
試験・課題など	毎週、テーマに基づいたモデリング
感想を自由記入	使用頻度の少ないソフトウェアだったが、利便性が高いので習得するいい機会になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Architecture et revitalisation urbaine	建築と都市活性化
科目設置学部・研究科	Semester 7
履修期間	2017.10-2018.1
単位数	13
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	スタジオ形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 510 分が 16 回
担当教授	P. Duguet, A. Saubot
授業内容	フランス郊外の調査と活性化のための提案を考える。
試験・課題など	リサーチ発表、中間発表、最終発表
感想を自由記入	知らない土地のリサーチは情報収集等かなり厳しかったが、最終的な提案は、教授にも気に入ってもらえた上に詳細部分にも初めて取り組むことができたため良い経験になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Habiter et travailler : concevoir la mixité	住居空間と労働空間:複合プログラムのデザイン
科目設置学部・研究科	Semester8
履修期間	2018.3-2018.7
単位数	13
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	スタジオ形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 510 分が 16 回
担当教授	F. Audigier, M. Fenker, M. Schmit
授業内容	革製品工房と医療施設の設計を前半で行い、その後フィンランドでワークショップを行ない、後半には革製品工房と医療施設と集合住宅の設計を行った。
試験・課題など	中間発表、最終発表。各プログラムの構成をグラフィカルにプレゼンテーションにまとめ、毎週設計物を教授に説明する。
感想を自由記入	初めて扱うプログラムとパリの法規が絡むことで、最初は認識の違いからかなり苦戦したが、後半は設計のグループにも恵まれ、規模がかなり大きかったが内容の濃い設計をすることができたと感じている。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Analyse constructive par la maquette	模型による構造解析
科目設置学部・研究科	Semester8
履修期間	2018.3-2018.7
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	演習形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 210 分が 14 回
担当教授	A.RAYNAUD / J.BERGNA
授業内容	校門の守衛室の設計と実施施工
試験・課題など	施工の際の各部位にグループで別れそれぞれ部位を組み立てて施工していく。
感想を自由記入	シラバスの授業の説明文と内容が大きく違ったが、実際に小規模サイズの建築施工に参加し部位を作り組み立てていくことができたのはとても興味深く貴重な体験だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Conception et réalisation d'objets en béton UHP moulé		コンクリートを用いた家具の設計と施工	
科目設置学部・研究科	Semester9		
履修期間	2017.10-2018.1		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	演習形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 210 分が 14 回		
担当教授	T. Malikian, D. Magniac		
授業内容	植物、動物の骨、鉱物からデザインコンセプトを得て、コンクリートによる家具の設計と打設を行ない、校内に展示する。		
試験・課題など	設計計画書の作成、プレゼンテーションの作成		
感想を自由記入	自分の設計したものが実際のスケールで出来上がったことがとても嬉しく、初めて扱う素材、器具もあったので良い経験だった。コンクリート打設に関して、型枠の重要性を理解したとともに、建築物を施工することの難しさを体験することができ、とても身になる授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Modern Languages (french as a foreign languages)		現代語、外国語としてのフランス語	
科目設置学部・研究科	Semester5		
履修期間	2017.10-2018.1、2018.3-2018.6		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 14 回		
担当教授	Françoise Huet		
授業内容	フランス語学習		
試験・課題など	学期末試験		
感想を自由記入	フランス語初心者のための授業で、建築でも使える単語を取り扱ってくれたため、とても役に立った。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2017年 1月～3月	留学先への出願手続き ERASMUS+(奨学金)の申請に際しての各種書類手続き
4月～7月	留学先へ出願、奨学金の手続き 滞在先、学生寮の申請・確保 ビザ申請準備 明治大学のフランス語講座に参加
8月～9月	ビザ取得 渡仏 フランス語集中講座 学生保険、滞在許可証等、各種契約手続き 大学オリエンテーション、履修登録
10月～12月	学期開始 パリ有名公共施設夜間解放イベント ヨーロッパ遺産・公共施設解放イベント
2018年 1月～3月	期末試験、プレゼンテーション 次学期履修登録 学期開始
4月～7月	設計スタジオのワークショップでフィンランドへ MEIJI NOW!へ留学体験談の寄稿 日本への留学生との交流 期末試験、プレゼンテーション 各種契約解約等、帰国
8月～9月	帰国、留学報告
10月～12月	
年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

<p>留学しようと決めた理由</p>	<p>以前から海外に行くこと、異文化交流への憧れがあり、日本にはない街並み、環境の中で生活、勉強がしたいと思っていました。大学4年生の際に参加したバンコクでの1ヶ月の短期ワークショップでは建築を通しての異文化理解、外国語でのコミュニケーション、日本以外の地域での生活がとても楽しく感じられ、さらに長く海外で生活してみたいと感じました。</p> <p>実家暮らしで付属高校から大学、大学院へストレートに進学していたので、親元を離れ新しい場所でチャレンジしたいという気持ちと、研究室や先輩にも恵まれチャンスを得られたので、留学にチャレンジしようと決意しました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>大学院1年生の前期に明治大学リバティアカデミーのフランス語講座を受講していて、教材は先生がプリントで用意したものを利用していました。去年度留学していた先輩からも言われていたことであり、当然ではあるがフランス語は話せるに越したことはないと思います。</p> <p>言語が話せることと同等に大切だと感じたのは、日本の伝統的な慣習、工芸品、行事、食べ物を理解し説明できることである。日本の文化は他国と比べてとても違う部分もあり、ちょっとした会話で話すことでとても面白がって聞いてもらえました。ヨーロッパの歴史や世界的な教養を身につけているとよりパリでの生活が楽しめるかもしれないです。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>大学4年生の際に、日本の伝統工芸と都市と建築の関係性について研究していたことから、他国の伝統的な工芸品、文化がどのように受け継がれているのかに興味を持っていました。パリでは、町中にそのような伝統あるものがあふれ、さらに周辺国に訪れることも容易なことから世界中から人が集まるため、より見聞を広げることができると考えました。それに加えて、日本の大学に比べて実践的に何かモノを作る授業が多くモノづくりを楽しみながら、モノの組み立て、構成を経験できることがとても魅力的であり、決め手になりました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>学生主体のサークル活動、学生によって運営される、カフェ、プリントショップがあり、学生の自主性が尊重される雰囲気を感じました。学校は狭いが、動画制作、写真現像用の暗室、彫刻用の部屋、模型作成用の様々な設備を備えているワークショップ等もありモノづくりの場は揃っていると感じました。プリントショップは学校から10分ほどのところにあり、学校のプリンターが壊れているのがとても困りました。幅広い年代層、明るい学生が多いです。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>私が入居した時から利用開始になった学生寮なので綺麗、清潔、でそれなりに設備は整っていました。2ヶ月に一回ほどのペースでお湯が出ない時間帯があったり、暖房がうまく機能しないなど、メンテナンスが不十分なこともあって冬場は辛く感じる時期もありましたが、今後安定していくと思います。学生が交流して何かしようと言った活動は、私がいた間はありませんでした。寮の前の通りが日本と比べると騒がしいです。</p>
<p>交友関係</p>	<p>日本にいた際にできたパリ在住の友人に最初は助けをもらいながら、授業が始まっていくとグループが一緒になった人と、よく話すようになり、パーティなどをすることで仲が良くなりました。以前留学していた先輩の友人と会うこともあり、多方面に友人関係は広げることができたと感じました。</p> <p>今年から学生寮ができ、日本人は良く交流があったので、以前に比べて日本人コミュニティの強い代になったようです。最初は、なるべく日本人と関わりすぎないようにしようと考えていましたが、本当に困っている時や信用して気楽に相談できるのは、やはり日本人だったのでこのコミュニティはとても大切でした。</p>

<p>困ったこと、 大変だったこと</p>	<p>留学当初、口座開設、保険の契約、諸々の手続きなど慣れない土地と言語での作業がとても面倒で大変でした。</p> <p>学生寮はベッドや机等の家具以外は何もなかったので、食器、キッチン、洗面周りの物等の生活必需品を整えるのも時間と、金銭面が思った以上にかかり大変でした。</p>
<p>学習内容・勉強 について</p>	<p>留学を決めた理由の一つである、実践的なモノづくりの授業では他の学生とともにデザインするためにコミュニケーションをとって話し合うことができ、様々な工具を用いながら実際のスケールのモノを作ることはとても貴重な体験でとても楽しみながら実践できました。</p> <p>設計では、考える機能の関係もあるとは思いますが、フランス特有の考え方なのか、個人個人の権利の主張、平等性を尊重して考えていて見習う必要があると感じました。知識量も日本人に比べて多いように感じて、もっと様々なことにアンテナを張って情報を蓄えるの必要性を感じました。</p> <p>物事を全体的に考えて、協調できるようにまとめる、柔軟に考えるのは日本人の方が得意で、グループワークの際にはそちら側にまわりました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>課題の量は多いイメージで、別の講義の授業を取っている友人の話を知っている感じではかなりの課題が出ているところもあるようです。設計の授業に限らず、夜中まで作業することや徹夜することも少なくなかったです。</p> <p>プレゼンテーションに関しては、見せ方がうまく、あまりメインではないところには極力時間をかけずに、メインのものを分かりやすく目立たせるというメリハリがしっかりしていると感じました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>留学してすぐの秋頃は街を楽しむイベントがとてもたくさんあり良く参加していました。</p> <p>10月には深夜に教会やホールでインスタレーションやギャラリーが開催されるイベント、普段は入場できない国営の施設などが解放され入場することができるイベント、11月頃にパリのセーヌ川沿いで駅伝形式のマラソン大会があり、どのイベントも一部の人だけではなく、人々にフランス、パリを知ってもらうために国で雰囲気を作っているように感じられ、とても印象的でした。</p>
<p>留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと、アドバイス等</p>	<p>留学は行く前、留学中、行った後、どのタイミングでも大変で辛いことがあります。私も実は嫌になることは多々ありましたが、このチャンスをつかめた自分は恵まれているのだから、楽しめるだけ楽しもうと思うようになっていました。これから気づくこともあると思いますが留学で得た経験は確実にこれから日本人として生きていく上で自分自身の中で大きな意味を持つと思います。</p> <p>海外には、ごく普通の決められたような生き方ではなく、多様な生き方、働き方をしている人が多いです。日本は良い企業に入るために大学に通う人が少なくないですが、海外では自分のなりたい夢に向かって目的を持って学ぶ人がほとんどで、働いてから学び直す人も少なくないです。世界中の人々の生き方を見てどうやって生きるかを考える良い機会になると感じました。</p>

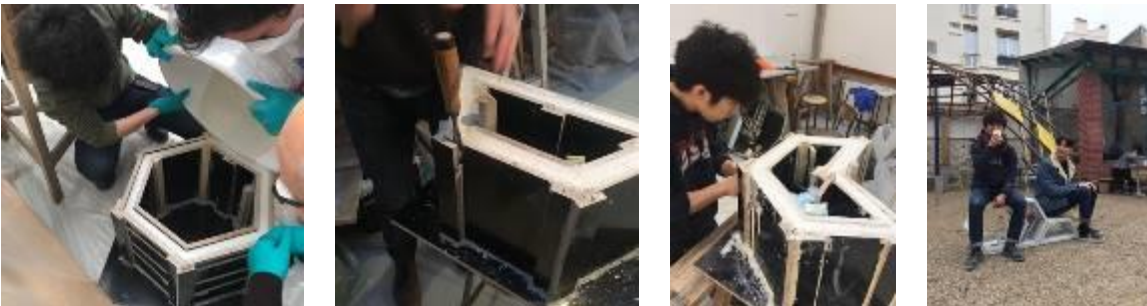
留学中の写真



実際に作ったコンクリート家具とチーム集合写真



冬学期の設計課題の最終講評会実際に作ったコンクリート家具とチーム集合写真



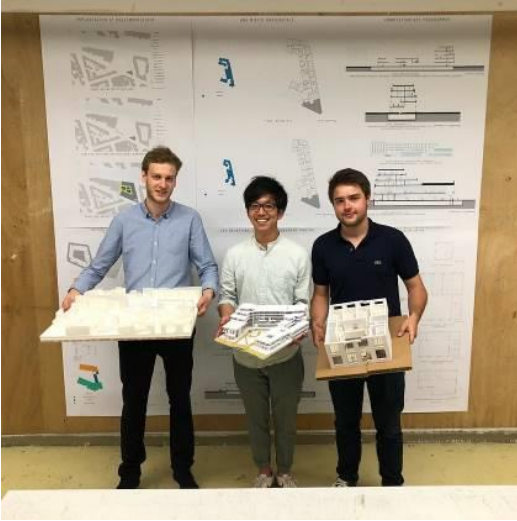
写真左:コンクリートを型枠に流し込んでいる場面

写真中:型枠を分解しようとしている場面

写真右:作ったオブジェを実際に家具として使っている場面



日本人チームとして参加した、セーヌ川沿いを走るパリ駅伝大会



春学期、設計スタジオのグループ写真